

◆第2期中期計画 ～学域制への移行や教職員の削減などの大きな改革を実行しながら、教育研究等の取組を着実に実施。諸機関と連携し、より多くの成果を社会に還元～

教育の質の向上

「学士課程教育を充実」
 ■文理融合の「現代システム科学域」の設置をはじめとする学際性を重視した学域制導入とカリキュラムの再構築などの大きな教育改革を実施

研究水準等の向上

「先端的研究を推進」
 ■21世紀科学研究所の分野横断型の研究体制を推進
 ■植物工場研究センターやBNCT研究センターなどの実証・評価を通じ、研究成果を社会に還元

地域貢献の更なる拡充

「地域社会のニーズへ対応」
 ■企業への博士人材の輩出など、社会に貢献する優秀な人材を育成
 ■企業等との産学連携を全学的に推進
 ■公開講座を充実、I-siteなんば(都市部サテライト)を開設

国際化への対応

「国際交流を推進」
 ■国際交流会館の開設など留学生の受入環境の整備、海外留学支援制度の拡充などにより、受入留学生と学生海外派遣数が増加

大学改革へ対応(組織・運営面)

「経費削減と収入確保を徹底」
 ■組織再編等に伴って教職員数を減らし人件費総額を抑制
 ■自主財源の確保や効率的な運営により、自律性の高い経営をめざし、運営費交付金の縮減に対応

◆今後の方向

- ・3ポリシーに沿った教育の改善・改革の推進
- ・活動の質的転換
- ・諸機関との連携強化
- ・グローバル化戦略の具現化
- ・財務基盤、組織体制の維持・強化

【第3期における取組の基本的な考え方】

学際性を重視した教育改革や分野横断型の研究体制、産学連携の取組といった、本法人の強みを活かしつつ、これまでの大学改革の取組の継続・発展を基本とし、次の3つを重点戦略目標として掲げ、取組を推進する

参考：府法人評価委員会における「第2期中期目標終了時の業務継続の検討に係る意見」

- 4学域制への改編を成し遂げ、教育研究に加え、地域貢献でも諸機関との連携により多くの成果が顕在化
- 今後も期待する取組・次期中期計画に盛り込んで欲しいこと
 - ・効果的な地域貢献活動(社会に貢献する優秀な人材の育成・輩出。大阪のイノベーションを進める基盤となる様々な地域貢献活動)
 - ・グローバルに活躍できる人材の育成
 - ・財政基盤の強化
 - ・相応の教職員と法人組織体制の最適化

《 重点戦略目標 》

《重点戦略目標 1》
 社会で活躍する応用力・実践力を備えた高度人材の育成

- ① 全学教員による教養・基礎教育等の充実 <大3> <高3>
- ② 地域志向型のカリキュラムに基づく教育の推進 <大5>
- ③ リーディング大学院のプログラムの全学展開を通じた産学協同の人材育成の推進 <大8>
- ④ 諸機関と連携した地域課題解決に向けた取組の推進、人材の育成 <大28>

《重点戦略目標 3》
 グローバル展開に向けた環境の整備

- ① 海外派遣プログラムなど留学支援の強化 <大10> <高6>
- ② アセアン地域諸国などのアジアの大学を中心とした相互交流の推進 <大30>
- ③ キャンパス内での多文化交流の活性化 <大29>
- ④ 国際的な共同研究・海外からの研究資金の拡大 <大19>

《重点戦略目標 2》
 大阪からのイノベーションに繋がる研究の推進

- ① 現代社会の課題解決やイノベーション創出に向けた、先端的研究や異分野融合による研究、共同研究の推進 <大19>
- ② 分野横断型の研究体制の拡充。企業や他大学等と連携したオープンイノベーションの推進 <大20> <大21>
- ③ 「大阪のシンクタンク」として、政策課題に対応した共同研究等の実施 <大27>

教育のグローバル化

研究のグローバル化

【取組を支える基盤】

- 様々な経営資源の強化・活用
 - ・理事長・学長のトップマネジメント
 - ・財政基盤の強化
 - ・女性教員の積極的採用・登用
 - ・リスクマネジメントの強化
 - ・若手研究者の確保・育成
 - ・戦略的広報によるブランド力の向上
 - ・教職員の能力と専門性向上
- 大阪府立大学との統合による新大学実現に向けた準備、連携・共同化の推進